

[04_06]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1467992>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (6), 1971-12-03. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

クローズドパンチ室の業務の変更について

—カードの作表複製業務の中止—

従来クローズドパンチ室では、カードの穿孔、作表、複製、翻訳印字（インタープリター）等の業務を行ってきました。このうちカードの作表、複製については、通信端局のFACOM-R（低速のカードリーダー、カードパンチ、ラインプリンタ等を持った小型の計算機）を使用していましたが、FACOM-Rの入出力機器の速度が遅く、また一時期機器の調子が悪かったため、クローズドパンチの業務がここでとどこおり大変ご迷惑をおかけしていました。

またFACOM-Rの使用法については、現在FACOM230-60 本体に接続されている紙テープ読取装置、X-Yプロッタ等をFACOM-Rに接続し、本体とは通信制御装置を介して結合し、本体の使用効率の向上、特殊ジョブの操作手順の簡略化等をはかる計画も進行しています。

このためセンターおよびセンター業務委員会では、クローズドパンチ室の業務の整理を検討してきましたが、その結果9月1日よりクローズドパンチ室における作表複製業務を中止することになりました。別項のようにカードの作表複製のための効率のよいプログラムを用意してありますので、今後は一般の計算依頼として申し込んでください。大変ご迷惑をおかけしましたが、クローズドパンチの返却を早め、またセンター業務全体の合理化を行なうためですのでご了承ください。この変更により、穿孔と同時にこなわれていた読み合わせ用リストの作成および複製業務に付随していたカードの翻訳印字は別業務となりますが、輸送に時間のかかる学外連絡所からの利用が不便にならないよう学外連絡所からの依頼については、従来どおり読み合わせ用リストの添付も、複製後の翻訳印字も行ないます。

なお、センターのクローズドパンチ業務は、主として、カード穿孔機もなく、オープンパンチ室も利用できない学外連絡所を対象に運用されています。このため学内からの穿孔および翻訳印字の依頼に関してはターンアラウンドタイムが長くなりますので、できるだけオープンパンチをご利用ください。

変更後の業務内容は次のようになります。

	学 内	学 外
穿 孔	オープンパンチ クローズドパンチ*（リストなし）	クローズドパンチ（リストあり）
作 表	計算依頼（\$CARDCOPY）	計算依頼（\$CARDCOPY）
複 製	計算依頼（\$CARDCOPY） 翻訳印字なし	計算依頼（\$CARDCOPY） 翻訳印字あり
翻 訳 印 字	オープンパンチ * クローズドパンチ	クローズドパンチ

* 学外優先のため混んでいる時は制限されることもある。